

令和5年度「土質・地質技術者生涯学習協議会」概略議事録

日時：令和6年3月25日（月） 15:30～17:00

場所：全地連会議室（対面＋WEB会議）

出席者：

（一社）日本応用地質学会（小俣会長）

（国研）産業技術総合研究所（斎藤委員）

日本情報地質学会（坂本委員） WEB

（一社）日本地質学会（佐々木委員）

（公社）日本地下水学会（石川委員） WEB

（一社）全国さく井協会（岡崎委員）

（協）関西地盤環境研究センター（金津委員） WEB

山口大学理学部地球圏システム科学科（太田委員）

NPO 日本地質汚染審査機構（國松委員） WEB

フィールドの達人企画委員会（高野様（大石委員の代理）） WEB

（一社）全国地質調査業協会連合会（須見、高橋、相澤、廣田）

欠席者：（一社）物理探査学会（内藤委員）

議事および議決内容等：

1. ジオ・スクリーニングネットの運用状況について 資料①

（1）会員数

（2）登録CPDプログラムの一覧（最近約1年間の登録内容）

→ 上記（1）～（2）の議題について、事務局より報告・説明があり、内容について確認された。

（3）WEBサイト ジオネットの見直しについて

→ 上記の議題について、事務局より報告・説明があり、内容について確認された。

（4）CPDの重み係数の見直しについて

→ 上記の議題について、事務局より報告・説明があり、事務局より提示のあった見直し（案）の内容で了承された。また、見直し（案）は、4月1日からの適用となった。

→ 次のような意見等があった。

（太田委員）資料内に「非常勤講師」の言葉がないが、どこにあるのか。

（事務局）Ⅱ発信型 5. 講師・技術指導（3）修習技術者等に対する具体的な技術指導内に含めるものとする。なお、修正した表を改めて事務局より協議会へ提出する。

（小俣会長）Ⅱ発信型 4. 論文・報告文の（1）および（2）については多少紛らわしい内容ではあるが、学会発表を行っている方は（2）学術論文の口頭発表でCPD単位の計算をするように案内いただければよい。また、学会によって発表時間は異なるが、その点はジオ・スクリーニングネットで調整をしていきたい。

2. CPD関連組織の活動状況について

(1) 日本技術士会の活動状況について 資料②、資料番号無し

→ 上記の議題について、会長より報告・説明があり、内容について確認された。

→ 次のような意見等があった。

(岡崎委員) 資料②12 ページの「4. IPD の推進」について、所定の IPD 時間をクリアした人には経験論文と面接で技術士資格を与えることも検討中とあるが、これは国際基準的に問題ないのか。

(小俣会長) IPD でしっかりと勉強をしてきている為、基準的には問題ないという考えであると受けている。

(佐々木委員) 本来 CPD は、ライセンスを取得した後の技術研鑽である。そのためライセンス取得に向けて利用するものではないと思う。また情報が出たら共有して欲しい。

(2) 建設系 CPD 協議会の活動状況について 資料③、資料番号無し

→ 上記の議題について、事務局より報告・説明があり、内容について確認された。

また、建設系 CPD 協議会の事務局機能の引き受けについては、日本応用地質学会、全国地質調査業協会連合会、物理探査学会、日本地質学会が引き受けすることを決定した。

(3) 千葉市における CPD 運営団体の認定について 資料④

→ 上記の議題について、事務局より報告・説明があり、内容について確認された。

3. 令和6年度の会費について 資料⑤

→ 上記の議題について、事務局より説明があり、提案内容で了承された。

4. 協議会参加組織における CPD の活動状況について (自由討議・資料なし)

5. その他

以上